

新庁舎が平成27年度に完成

市民に親しまれ、次世代へ引き継がれる庁舎をめざし、
人にも地球にもやさしい

「秋田らしい新庁舎」をつくります。



敷地西側から見た庁舎外観イメージ

本格的に動き出す 一大プロジェクト

現在の市役所本庁舎と議場棟は、昭和39年10月の完成から50年近く経過して建物の老朽化が進み、同時に耐震診断により地震への安全性の不備が指摘されています。また狭隘化（狭くなると）により、窓口機能が別棟の建物にも分散するなど、市民のみなさんに不便をおかけしている状況にあります。

これらを踏まえ、市では建物の基本コンセプトやスケジュールなどを検討し、平成23年3月に基本構想を策定。現在、その方針に基づいて設計作業を進めています。そして平成25年に着工、平成27年の完成をめざす一大プロジェクトが、いよいよ本格的に始動します。

基本コンセプト1

市民に親しまれ、市民サービスの実現する、
人にやさしい庁舎

● 窓口部門を1・2階に集めるほか、複数の用件を1か所で行うことができる総合窓口を設置します。

● 2・3階に（仮称）中央市民サービスセンターをつくり、市民が利用できる会議室・音楽室や子育て交流ひろばなどを設置します。

● 高齢者や障がい者をはじめ、誰にも安全で分かりやすく、利用しやすい建物にします。

● 来庁者用の駐車場と本庁舎を結ぶ通路には、屋根と融雪設備を設置します。

基本コンセプト2

防災拠点となる、

市民に安全・安心な庁舎

● 大地震による強い揺れを軽減する免震構造や、非常用発電・太陽光発電設備などにより、災害発生時でも業務を継続できる防災拠点施設とします。

● 1階の市民ホールなどを活用して市民が必要とする災害・安否確認情報などをいち早く提供します。

■新庁舎概要

敷地面積▶25,851.4㎡

延べ面積▶約31,000㎡
(うち駐車場約2,100㎡)

* 現庁舎地下改修部分を除く。

構造▶鉄筋コンクリート造

階数▶地上6階地下1階

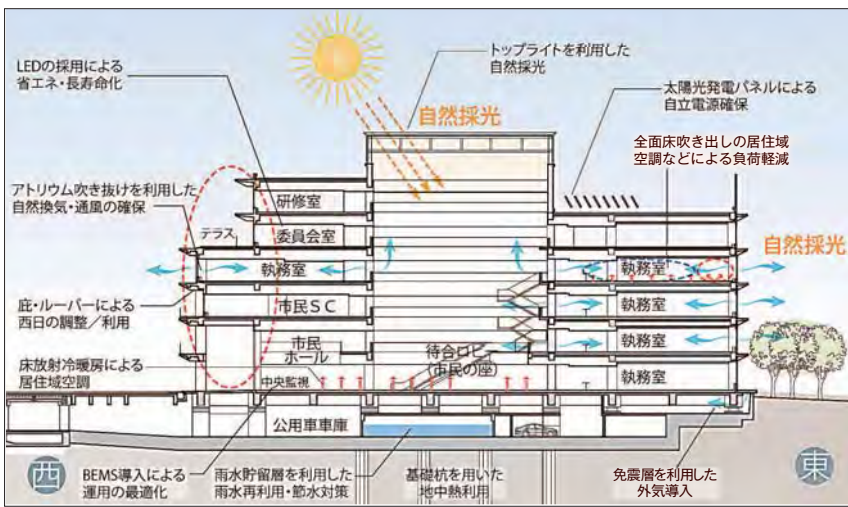
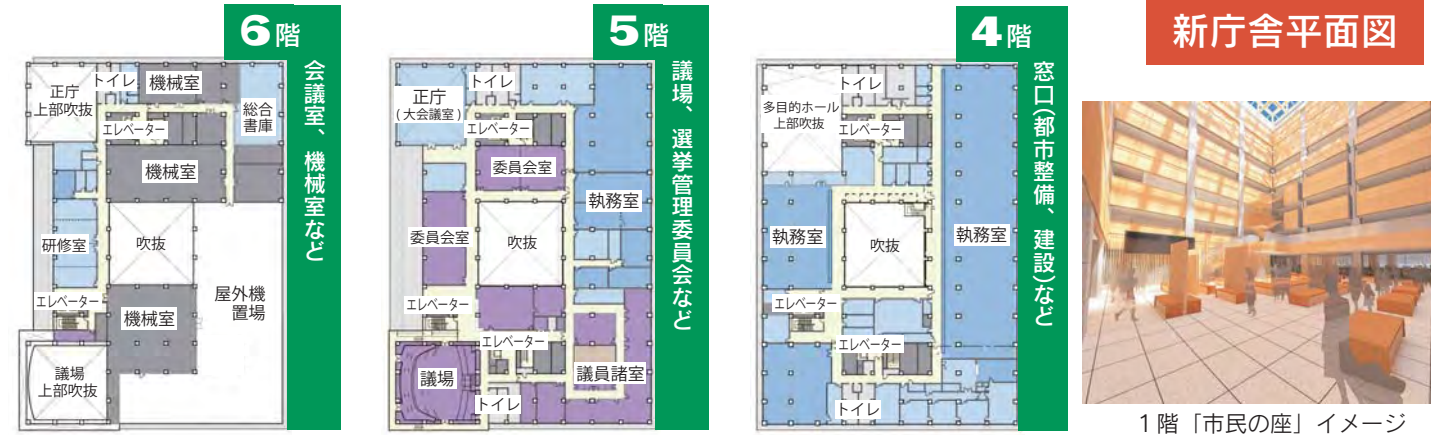
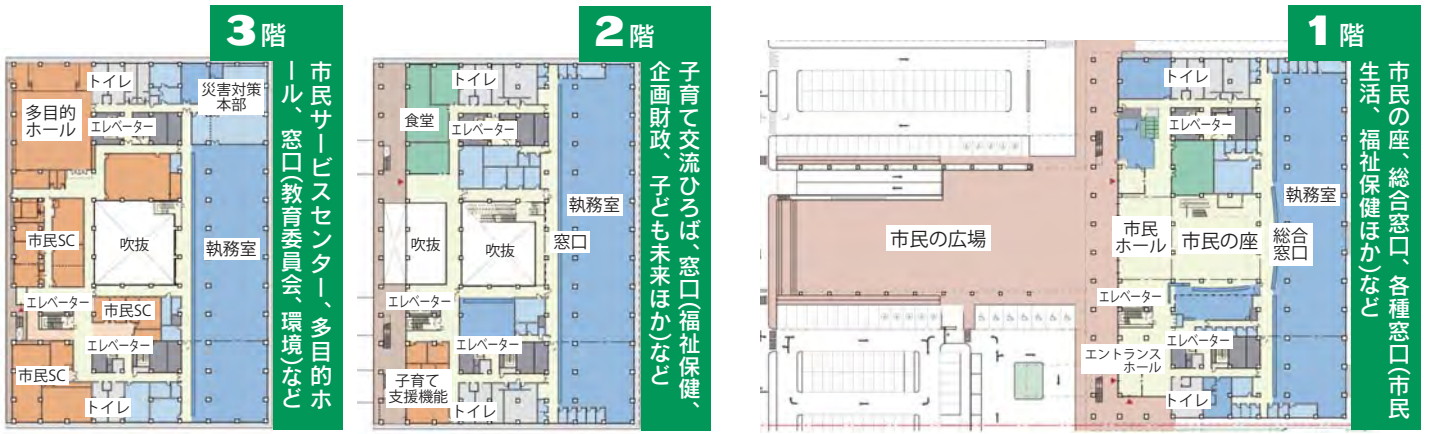
高さ▶約30m

■問い合わせ

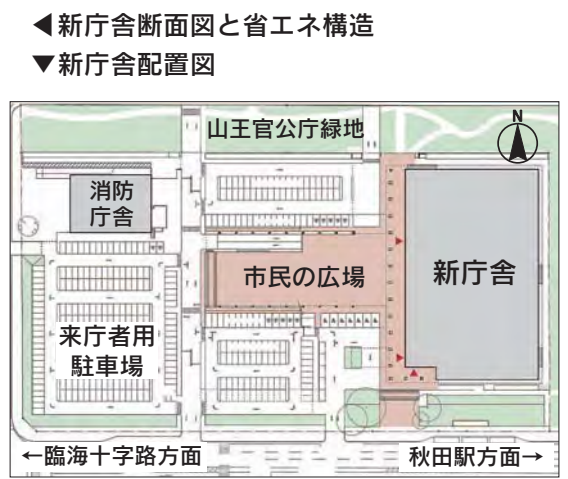
新庁舎建設室 ☎(866)8915

Eメール ro-gnop@city.akita.akita.jp

* 新庁舎の設計の詳細や建設に伴う工事日程などは、改めて広報あきたなどでお知らせします。



BEMS=ビルエネルギー管理装置



基本コンセプト3
環境共生へ取り組み、地球にやさしい庁舎

● 吹き抜け空間を利用し、自然採光や換気を行うなど、自然エネルギーを効率的に活用します。

● 「環境立市あきたの実現」に向け、太陽光など再生可能エネルギーを導入し、同時に庁舎内の消費エネルギーを把握することで、その効率化に努めます。

基本コンセプト4
秋田の地域性を生かし、周辺環境と調和した庁舎

● バルコニーの軒裏に秋田杉を使うことで、周辺の緑に映えて秋田らしい表情を見せる庁舎にします。

● 建物の高さを低く抑え、周囲の緑地との一体的な景観をつくります。

基本コンセプト5
今ある資産を活用し、長く使い続けられる庁舎

● 現庁舎の地下部分は耐震補強をして地下駐車場に使用し、現庁舎北側にある分館は耐震補強と設備改修をして有効に活用します。

● 100年使い続けることを考えて、中長期の維持管理を計画します。